

課題情報シート

課題名：	若年層の家具利用状況調査に基づく多目的家具の製作		
施設名：	中国職業能力開発大学校附属島根職業能力開発短期大学校		
課程名：	専門課程	訓練科名：	住居環境科
課題の区分：	総合制作実習課題	課題の形態：	製作

課題の制作・開発目的

(1) 課題実習の前提となる科目または知識、技能・技術

安全衛生工学、建築施工実習 I、インテリア設計実習、CG 制作

(2) 課題に取り組む推奨段階

木材加工技術及び、インテリア設計技術終了後

(3) 課題によって養成する知識、技能・技術

課題を通して、主にインテリア設計技術、木材加工技術、CG 制作技術の実践力を身につける

(4) 課題実習の時間と人数

人数：1名

時間：216時間

本課題では、若年層が自室においてどのような家具をどのように利用しているのかを明らかにするとともに、その結果に基づいて若年層の基本的な生活行為を支えることのできる多目的家具を設計・製作し、さらに CG によるプレゼンテーションを行って提案することを目的としました。

課題の成果概要

アンケート結果から、本棚、机などの使用が多く、収納家具が不足している状況がうかがえたことから、使用の多かった本棚、机などの機能に加え、不足していると思われる収納の機能を組み込むことを条件として設定し、いくつかの形を連結させることによって様々な機能を達成できる形態とすることとして図 1 に示すように設計を行い、家具製作を行いました（図 2 参照）。また、設計した多目的家具の利用方法等をプレゼンテーションするため、家具及び家具をレイアウト

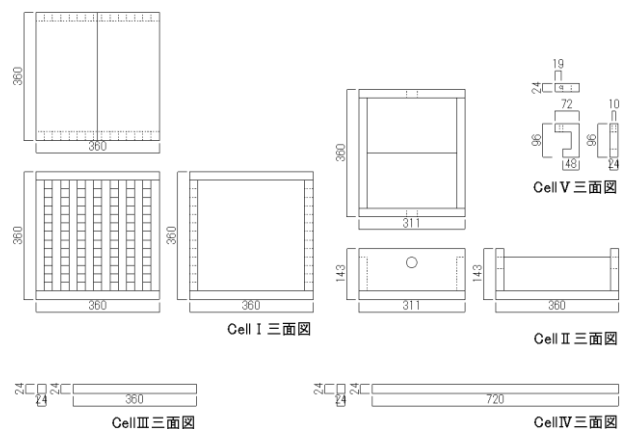


図 1 多目的家具三面図

するための部屋をモデリングした後、静止画・動画のCGを制作しました（図3参照）。

本総合制作により、若年層が、どのような家具をどのように利用しているのかをある程度明らかにすることができました。またその結果に基づいて、多目的家具を実際に設計・製作するとともに、CGによるプレゼンテーションを制作することによって、提案することができました。



図2 製作物写真



図3 CG画像

課題制作・開発の訓練ポイントおよび所見

本課題では、自室の状況及び家具の使用状況を知る目的でアンケート調査を行い、その結果を踏まえ、多目的家具の機能及びデザインを検討し、決定しました。

家具製作において、木工用機械及び手工具の取扱では安全作業を徹底し、また、同じ加工の部材が多いため、治具を製作し効率良く作業が進むように工夫しました。

プレゼンテーション制作では、CG製作を行うことで、家具本体だけでなく、家具を部屋にレイアウトした時の状況や使用方法をプレゼンテーションすることができました。

養成する能力 (知識、技能・技術)	課題制作・開発のポイント	訓練（指導）ポイント
○ アンケート調査の方法及び結果の分析方法が習得できます。	◇ アンケートの項目の検討 家具の使用状況を知ることで、製作物の機能を決定するためのアンケート項目を検討し、作成しました。	● 製作物の機能決定など目的に合わせたアンケート項目の作成方法の指導
○ アンケート結果の分析、製作物のデザイン技術	◇ アンケート結果を的確に分析し、分析結果を機能、デザインにつなげます。	● アンケート結果を分析し、どのように製作物に反映させるか検討させます。
○ 家具の加工方法、治具の作成方法	◇ 試作品の製作を行うことで加工のポイントや製作	● 試作品の製作をさせることで問題点や注意点を実

養成する能力 (知識、技能・技術)	課題制作・開発のポイント	訓練（指導）ポイント
<p>○ 木工機械、手工具の取扱い、安全作業</p> <p>○ プレゼンテーション技術、CG製作の技術を習得します。</p>	<p>上の注意点を事前に把握できます。</p> <p>◇ 家具製作における部材の接合方法を習得し、見栄えとともに加工性を検討し、治具を製作することで加工性を高めることができました。</p> <p>◇ 木工機械手工具の特徴を理解し、安全作業ができるようにします。</p> <p>◇ CGを製作することにより、様々なパターンや家具を配置した部屋の状況をプレゼンテーションすることができます。</p>	<p>際に体験させ、加工計画を提案させます。</p> <p>● 同じ加工の部材が多いことから、どのような治具を製作し、加工を行うことで精度よく、また効率を高められるか学生に検討させます。</p> <p>● 安全が第一であることを理解させます。また、各木工機械の特徴、特性を理解させることで災害を未然に防ぐようにします。</p> <p>● 目的にあったプレゼンテーション手法を検討させます。</p>

<所見>

本課題における一連の取り組みの中での学生の言動から、ものづくりの楽しさを感じていることがうかがえました。また、製作における工夫や加工精度の向上も見られ、技能・技術の向上がうかがえました。これらのことから、企画・設計のための技術、加工のための技術、プレゼンテーション力など様々な技術・技能が総合的に向上することができたと考えます。

課題に関する問い合わせ先

施設名 : 中国職業能力開発大学校附属島根職業能力開発短期大学校
住所 : 〒695-0024
 島根県江津市二宮町神主 1964-7
電話番号 : 0855-53-4567 (代表)
施設 Web アドレス : <http://www.ehdo.go.jp/shimane/poly-col/index.html>